

玉津大久保線の早期整備に向けた神戸市への要望について

1 背景

本市の江井ヶ島松陰新田線につきましては、明石市大久保町と神戸市玉津町の地域間における国道2号や県道神戸明石線等の慢性的な渋滞の解消や地域間の活発な交流、災害時における避難・救援経路の確保といった課題解決を図るため、令和5年度の完成を目指し、重点的に取り組みを進めています。

当該道路は、神戸市の玉津大久保線と連続した幹線道路であり、ともに完成し、国道175号に接続することで一つの幹線道路ネットワークとして、事業効果を発現するものです。



2 要望概要

事業未着手となっている玉津大久保線との一体的な整備が不可欠であることから、これまで神戸市とは、実務者による協議を重ねてきたところ、2020年9月3日（木）に神戸市役所において、泉市長から神戸市油井副市長に玉津大久保線の早期整備について要望書を手交しました。（別添参照）

神戸市長 久元喜造様

要 望 書

平素より貴市におかれましては、本市市政運営の各般に対してご支援ご協力をいただいておりますことにお礼申し上げます。

さて、本市では、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の理念に基づく「持続可能な共生社会」の実現を目指して、こどもから高齢者まで、障害のある人もない人も、誰にとっても暮らしやすい「すべての人にやさしいまちづくり」にソフト・ハードの両面から取り組んでいます。このうちハード面においては、自然災害に対する安全・安心の確保や老朽化が進む都市インフラの機能維持、地域の利便性向上によるまちの活性化を図るための社会基盤整備を推進しており、とりわけ都市計画道路江井ヶ島松陰新田線を重要事業として位置づけています。

明石市大久保町と神戸市玉津町の地域間においては、国道2号や県道神戸明石線等の慢性的な渋滞により、生活道路へ通り抜け車両が日常的に流入し、歩行者をはじめ交通の安全性が低下しています。また、市境を跨ぎ東西に移動する道路が少ないため、地域間の活発な交流や災害時における避難・救援経路の確保が課題となっています。

このため、本市においては、平成28年度から都市計画道路江井ヶ島松陰新田線の整備に着手し、現在、用地取得や先行取得地等の道路工事を進め、早期完成を目指して取り組んでいるところです。

他方、貴市におかれましては、上記都市計画道路と一つの連続した幹線道路である都市計画道路玉津大久保線について、事業化に向けて様々な検討いただいていると承知していますが、当該道路予定地には埋蔵文化財が存在し、その調査に多額の費用と期間を要するなどの課題についてもお聞きいたしております。

しかしながら、広域的に地域間を結ぶ幹線道路は、市域を超え、ネットワークでつながってこそ、その効果を最大限に発揮できるものであり、市民の安全安心とまちの活性化にも資する未来への投資として、両市がともに協力し、スピード感を持って事業を推進していくことが必要であると強く認識いたしております。

つきましては、玉津大久保線の早期整備について、格別のご配慮賜りますようお願い申し上げます。

令和2年9月3日

明石市長 泉 房 穂

